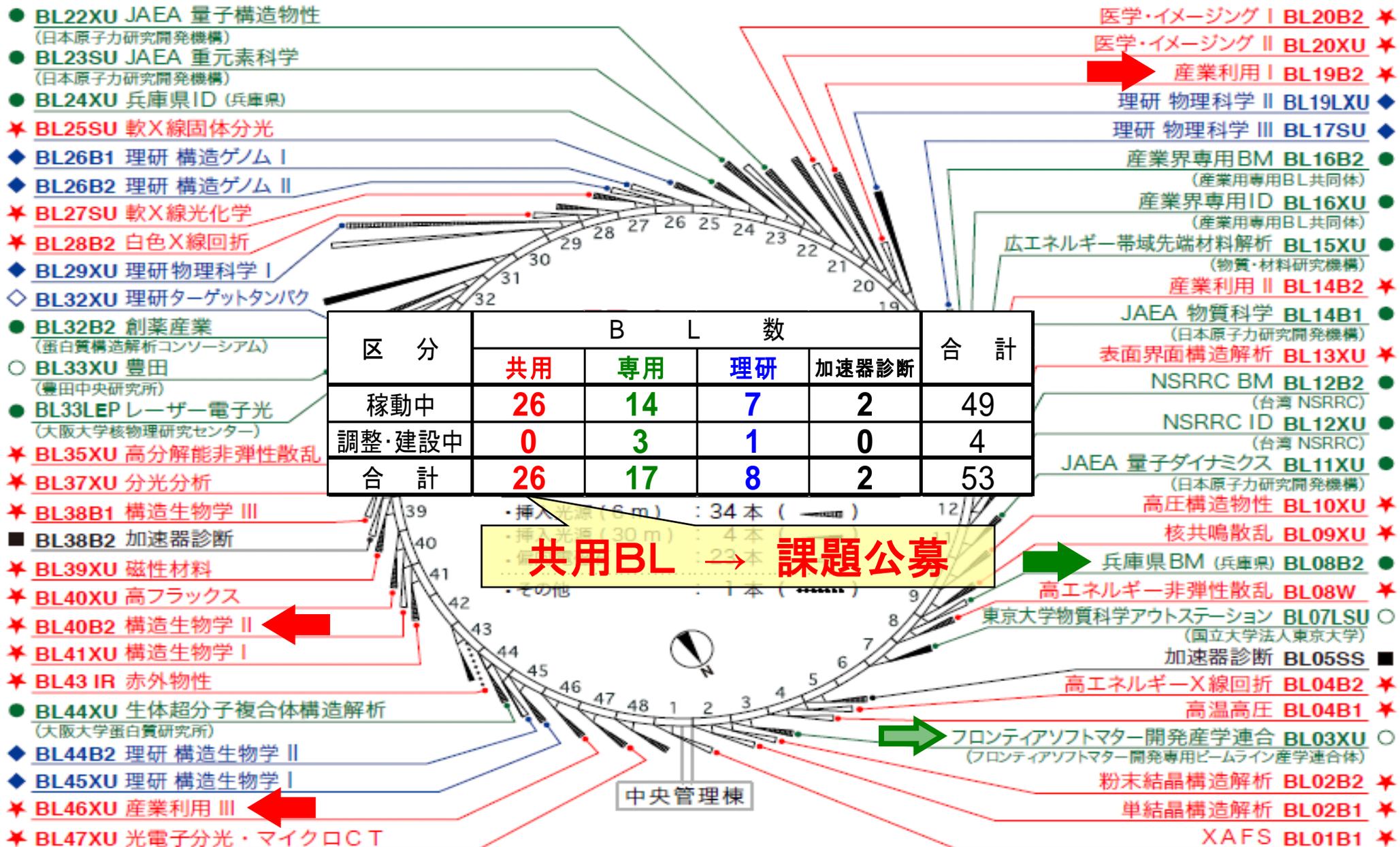


# 「SPring-8の利用に関心のある方へ」

(財)高輝度光科学研究センター  
産業利用推進室  
渡辺 義夫

# SPring-8 ビームラインマップ

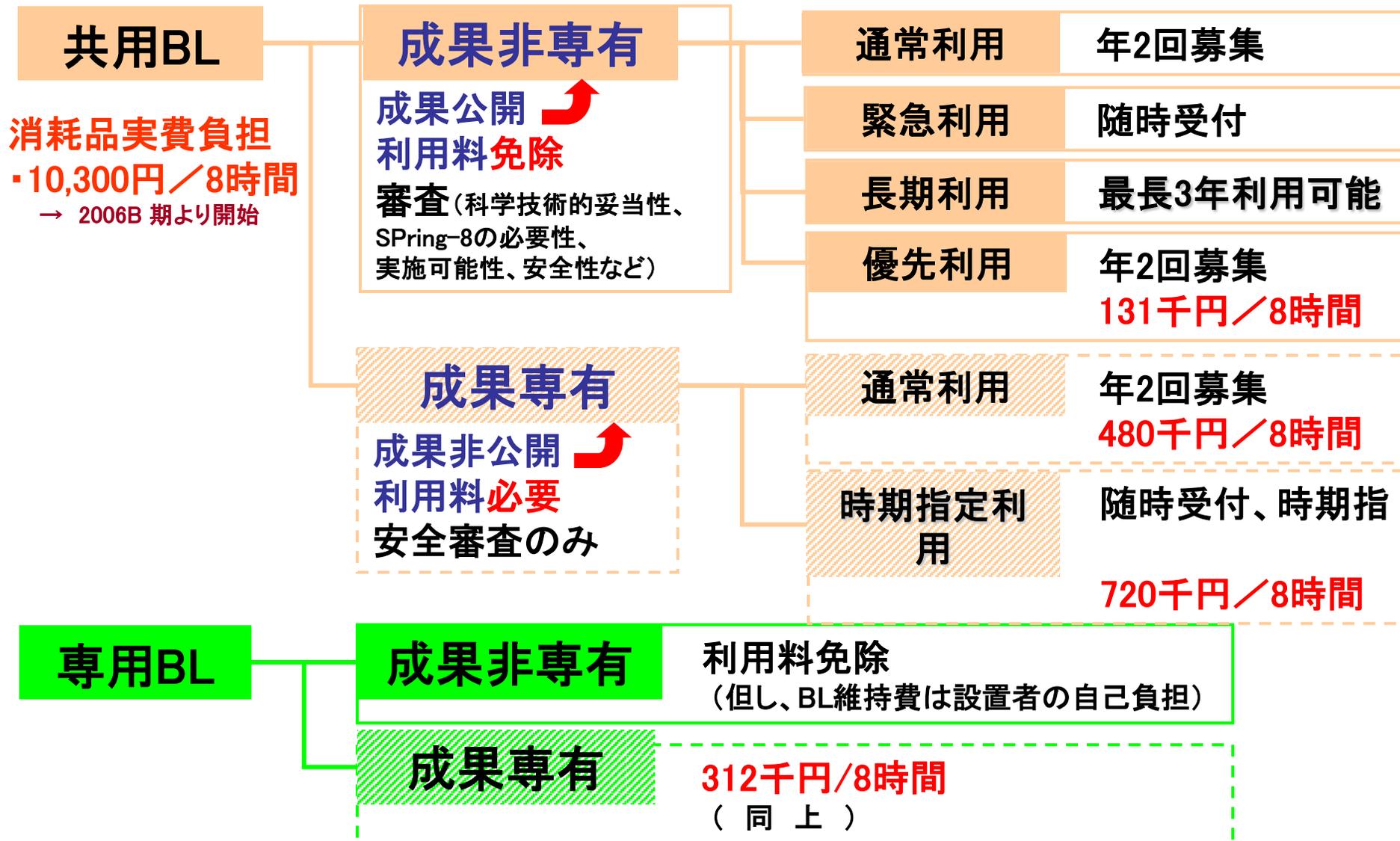
2008.1.7現在



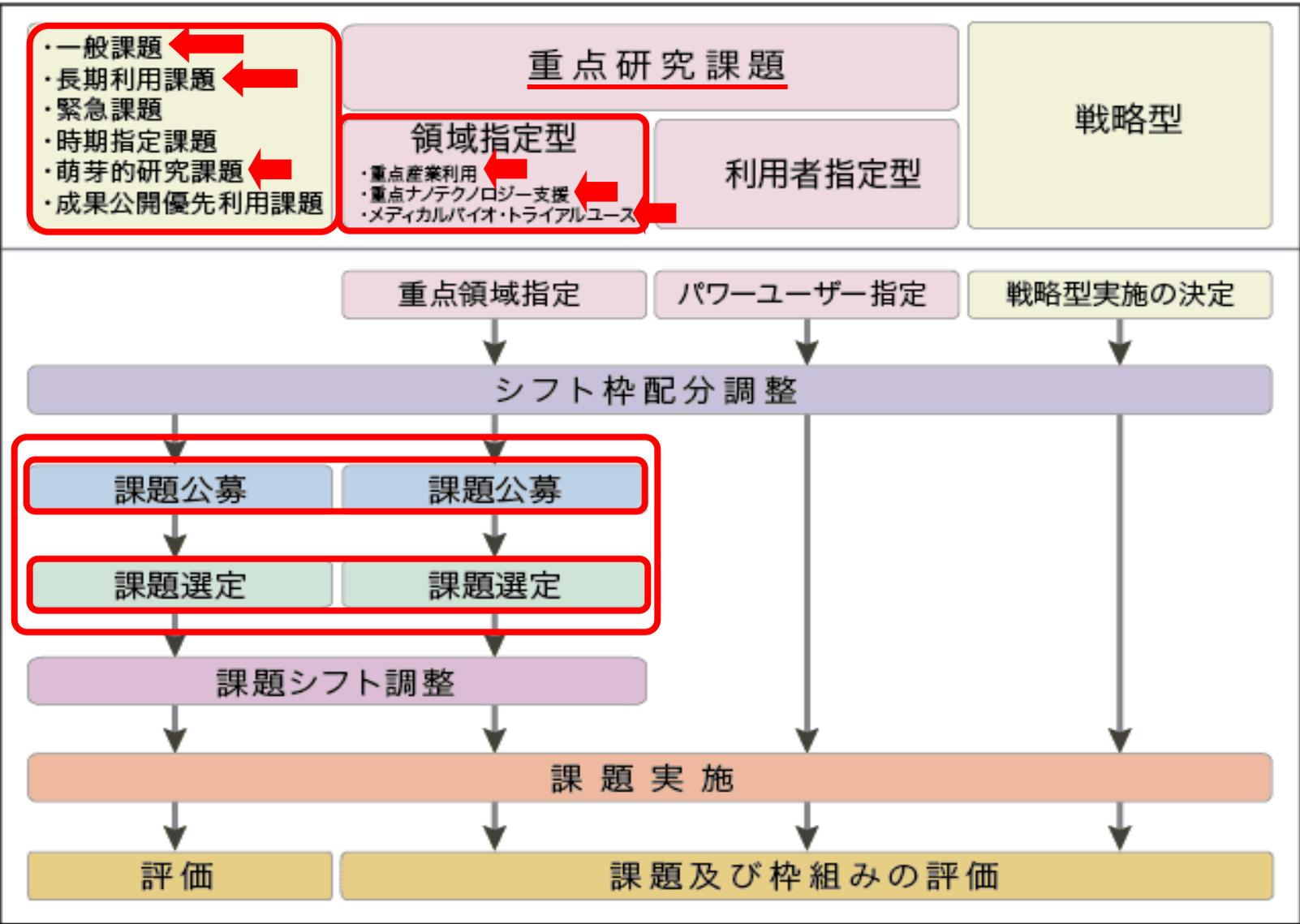
- BL22XU JAEA 量子構造物性 (日本原子力研究開発機構)
- BL23SU JAEA 重元素科学 (日本原子力研究開発機構)
- BL24XU 兵庫県ID (兵庫県)
- ★ BL25SU 軟X線固体分光
- ◆ BL26B1 理研 構造ゲノム I
- ◆ BL26B2 理研 構造ゲノム II
- ★ BL27SU 軟X線光化学
- ★ BL28B2 白色X線回折
- ◆ BL29XU 理研物理科学 I
- ◇ BL32XU 理研ターゲットタンク
- BL32B2 創薬産業 (蛋白質構造解析コンソーシアム)
- BL33XU 豊田 (豊田中央研究所)
- BL33LEP レーザー電子光 (大阪大学核物理研究センター)
- ★ BL35XU 高分解能非弾性散乱
- ★ BL37XU 分光分析
- ★ BL38B1 構造生物学 III
- BL38B2 加速器診断
- ★ BL39XU 磁性材料
- ★ BL40XU 高フラックス
- ★ BL40B2 構造生物学 II
- ★ BL41XU 構造生物学 I
- ★ BL43 IR 赤外物性
- BL44XU 生体超分子複合体構造解析 (大阪大学蛋白質研究所)
- ◆ BL44B2 理研 構造生物学 II
- ◆ BL45XU 理研 構造生物学 I
- ★ BL46XU 産業利用 III
- ★ BL47XU 光電子分光・マイクロCT

- 医学・イメージング I BL20B2 ★
- 医学・イメージング II BL20XU ★
- 産業利用 I BL19B2 ★
- 理研 物理科学 II BL19LXU ◆
- 理研 物理科学 III BL17SU ◆
- 産業界専用BM BL16B2 ● (産業界専用BL共同体)
- 産業界専用ID BL16XU ● (産業界専用BL共同体)
- 広エネルギー帯域先端材料解析 BL15XU ● (物質・材料研究機構)
- 産業利用 II BL14B2 ★
- JAEA 物質科学 BL14B1 ● (日本原子力研究開発機構)
- 表面界面構造解析 BL13XU ★
- NSRRC BM BL12B2 ● (台湾 NSRRC)
- NSRRC ID BL12XU ● (台湾 NSRRC)
- JAEA 量子ダイナミクス BL11XU ● (日本原子力研究開発機構)
- 高圧構造物性 BL10XU ★
- 核共鳴散乱 BL09XU ★
- 兵庫県BM (兵庫県) BL08B2 ●
- 高エネルギー非弾性散乱 BL08W ★
- 東京大学物質科学アウトステーション BL07LSU ○ (国立大学法人東京大学)
- 加速器診断 BL05SS ■
- 高エネルギーX線回折 BL04B2 ★
- 高温高圧 BL04B1 ★
- フロンティアソフトマター開発産学連合 BL03XU ○ (フロンティアソフトマター開発専用ビームライン産学連合体)
- 粉末結晶構造解析 BL02B2 ★
- 単結晶構造解析 BL02B1 ★
- XAFS BL01B1 ★

# 共用BL及び専用BLの利用制度（概要）



共用ビームラインの課題実施概念図



# 産業界向けの利用制度

## 利用制度の具体化

### ◆ 産業利用に向けた**制度**の構築

⇒ 適時, 計画性, 継続性, 即時性を満たす**柔軟な利用形態**へ



### ◆ 具体的内容 ← **「重点産業利用課題」**

➤ **年4回公募** … 2007B期から運用開始(07年9月 第2回募集, 12月BT配分)

⇒ 3本の産業利用ビームラインに適用

➤ **通年課題** … 2007B期の第2回公募から(B期のみ募集)

➤ **成果公開延期** … 最大2年間の**報告書公開を延期**

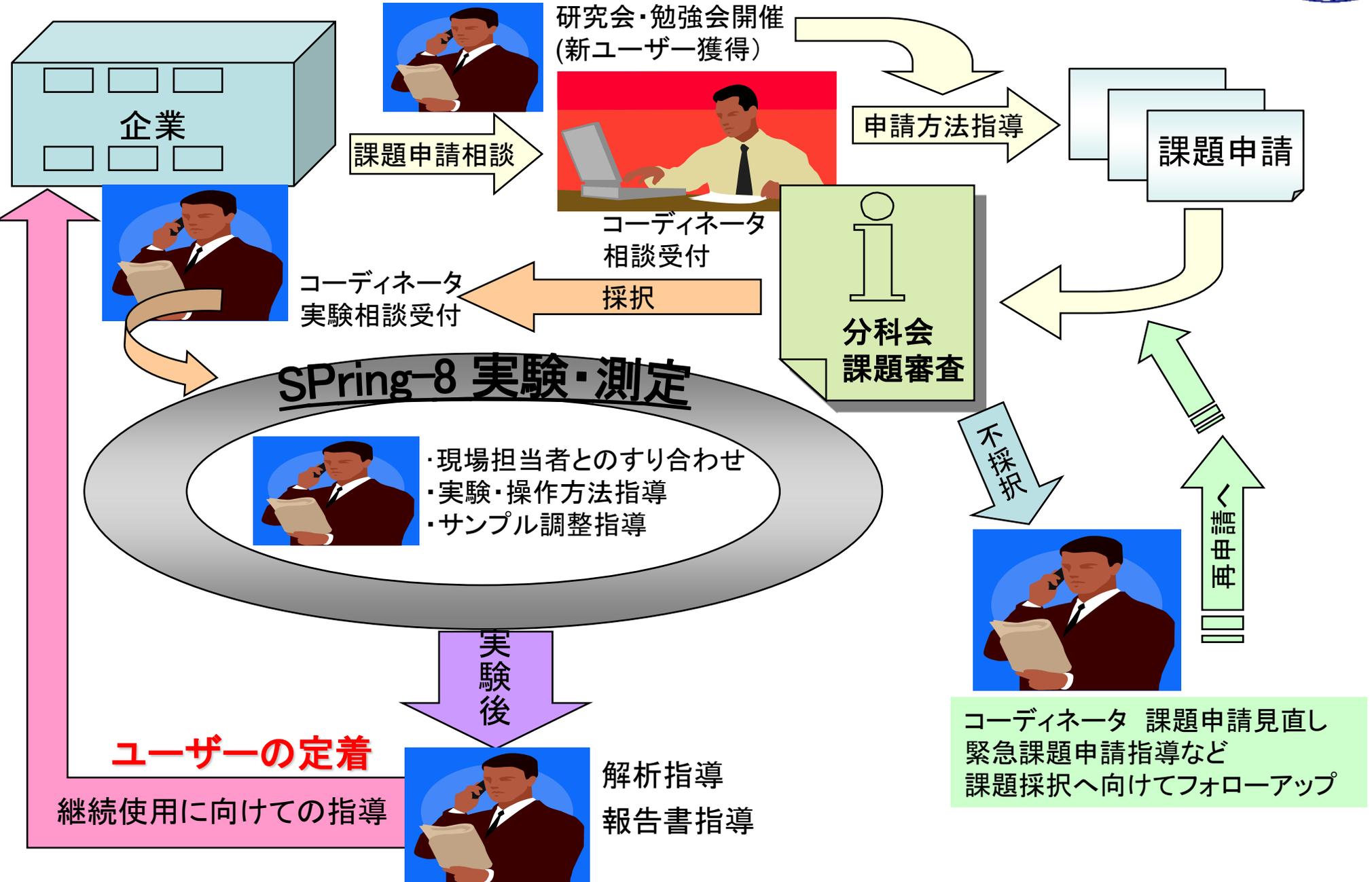
⇒ 延期終了時点で報告、その成果を明確化

---

➤ **測定代行** … 2008B期の公募時期に合わせて**本格実施**

⇒ 手法: XAFS(産業利用Ⅱビームライン)

# コーディネーター等の役割



# 共用BL利用研究課題審査基準

※「共用施設の利用研究課題選定に関する基本的考え方」より

審査基準	課題の種類	成果公開 一般課題	成果公開 優先利用課題	成果 非公開課題
<p>(1) 科学技術的妥当性</p> <p>イ) 研究課題の先端性及び当該研究課題を含む 科学技術分野の発展性ないしは新分野開拓への寄与</p> <p>ロ) 期待される研究成果の基礎的研究分野及び基盤 的技術開発分野への寄与度</p> <p><b>ハ) 期待される研究成果の産業基盤技術としての重要性 及び発展性</b></p> <p><b>ニ) 研究課題の社会的意義及び社会経済への寄与度</b></p> <p>※「重点産業分科会」では、ハ)とニ)を重視して審査</p>		○	× (競争的研究 資金獲得時 の審査結果 を尊重し、 二重の審査 を行わない)	×
(2) 研究手段としてSPring-8の必要性		○	○	×
(3) 科学技術基本法や社会通念等に対する妥当性		○	×(同上)	○
(4) 実験の実施可能性		○	○	○
(5) 実験の安全性		○	○	○

※重点研究課題においては、各利用研究分野等の特性に配慮した審査を行う。

# JASRI産業利用推進室

●室長：渡辺：半導体材料

y.wata@spring8.or.jp

●コーディネーター

➤古宮：電子材料

komiya@spring8.or.jp\*

➤梅咲：無機材料

umesaki@spring8.or.jp

➤杉浦：触媒材料

sugiuram@spring8.or.jp\*

➤二宮：蛍光分析

ninomiya@spring8.or.jp\*

➤橋本：金属材料

hashimot@spring8.or.jp

➤堀江：高分子材料

horiek@spring8.or.jp\*

➤八田：生体物理

hatta@spring8.or.jp\*

\*非常勤

●技術・解析支援者 16名(うち、13名Dr.取得者) 2008.4.1現在

うち、SPring-8サービス(株)からの業務協力員8名

●一般お問い合わせ窓口

support@spring8.or.jp